

令和4年度第8回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和4年11月22日（火）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 池頭俊
委員 津川裕恵
委員 坂田由美子
委員 林田新也
- 5 欠席委員
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 岩男竜彦
学校教育課 草場博志 教育審議員
小林信一 指導主事
関 嘉晋 指導主事
吉岡敏夫 課長補佐
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 牧野淳一 課長
人権啓発教育課 森田健二 課長

○中島栄治教育長

それでは、ご起立をお願いします。

ただいまから令和4年度第8回教育委員会議（11月定例会）を始めたいと思います。よろしくお願いします。

ご着席ください。

まず、開会に先立ちまして、昨日も学校訪問を行い、楓の森中の様子を見ていただきましたが、それぞれの学校でコロナ対応も習慣化しながら少しずつきちんとした学習、以前の授業風景も取り戻しつつ、市全体で取り組んでいることも見ていただけたんじゃないのかと思っております。

では、まず会議録署名者の指名をしたいと思います。坂田委員、林田委員、よろしいでしょうか。よろしくお願いします。

では、続きまして、前回会議録の承認ということで以前にお配りしていたと思いますけども、ご承認いただけますでしょうか。

はい。ありがとうございます。それでは、承認いただいたということで、本日の日程に入っていきたいと思います。

最初に、私から報告です。

1枚開けていただきまして、動静を報告させていただきます。

1日 庁議及び政策推進本部会議。14時30分からは行政協力員会議。

2日 南ヶ丘小学校の経営訪問。お世話になりました。

3日 マンガ祭り2022ということで、藤村緋二さんが来られ代表作は「神様の言うとおりに」ですね。もともと熊本市の出身の方で必由館高校のご卒業。子どもたちも来ておまして、合志市の子どもが「将来、私は漫画家になりたいと思っています。今日はどうやったら先生のアシスタントになれるか教えてください」と質問し、原稿を持ち込んでいたようです。この方も高校を卒業したあと、自分の原稿を直接出版社に持ち込み、優秀な編集者と偶然会って、いきなりデビューしたというような人で。自分は周囲の人に恵まれてここまで来ていますというお話があって、聞いていた子ども達も本気になったようで、夢を与えるというのはとてもいいなと思って参加したところです。

7日 合志中の経営訪問。お世話になりました。

8日 管内の教育長・校長合同会議。その内容をご説明します。

11月の管内教育長会議ということで、主なものだけお話しします。

所長からのご挨拶は、学校訪問が終わったということで、菊池管内を見て、学校の中で共通実践をしている、このことについてはとても効果があるように感じているということです。ただ、授業に関してはやはり教師主導が目立つので、そこは脱却していくのが課題と。ただ、これはコロナが落ち着いて、気兼ねなく活動ができるようになってからのことにはなりますが、準備を進めてくださいというようなお話でした。

それから、管理職選考考査について、第三次の実施がされました。本市からは教頭が2名、それから校長が3名受験をし、校長2名、教頭2名が三次に進んでおります。

続きまして、教員採用試験の結果について少し情報があり、臨採等で一次免除者が44名いたそうですが、本年度はその内41名が合格をしていると。それから、中学校は85名に対して40名が採用されていると。養護教諭が26名中、11名ということで、非常に臨採の先生の合格率が上がっている。考えなくていけないのは、その臨採は次の年本採になりますから、新たな臨採がないことには、その席が埋まらなないと。今度の異動が一番厳しい先生の数不足になることが考えられるというようなお話でした。

そのほかの情報として、40歳以上で合格された方が35名、最高齢は58歳で採用ということで、この方は61歳定年ですので、3年間本採をされるということです。

もう一つ課題となっておりました直卒、大学を卒業してすぐ教師になるという方が小学校で56%、中学校で35%、養護教諭7%ということで、経験がありませんので、研修もさることながらやはり先生方のサポート、それから、教師は子どもによって育てられる部分もありますので、子どもたちとしっかり仲良く、その先生が教師として育つよう、子どもたちにもお願いしたいというふうに思っ

たところです。

続いて、不祥事防止についてお話があり、令和元年度が14件で最も多かったのですが、2年度6件、3年度0件ときており、本年度は10月時点で3件あっているということで、繰り返し指導をとというようなお話でした。

それから、男性育児休業の取得について、令和元年が3人、令和2年1人、令和3年で7人ということで、取得する意識はあるようですが、進まない要因として、業務上の懸念、人手不足により休むと申し訳ないということで、なかなか男性の育児休業、女性の方の育児休業の際の職員が配置できなかったりするようなこともあり、余計取りにくくなっていると。それから、意識改革の遅れというのは、どうしても育児休業を男性が取得するというに関し、抵抗を持っていたりする方もいらっしゃるということです。経済上の問題ということで、育児休業期間は無給になりますので、経済的に豊かな生活を送りたいということで取得しないという人もいるとのことでした。

管理関係、指導関係は資料を載せておきましたので、ご覧いただき、何かご質問があるときにお問い合わせしたいと思います。

では、前に戻ってください。

10日 市の校長会議。校長会につきましては、私から、人事異動についてと小中一貫教育、それから不祥事防止についてお願いをしました。人事異動については、再任用ということで、今年度定年退職される方の中で県は75%を目標にしていました。それくらいの方が辞めないで仕事をしてくれれば何とか定員を埋めることができるのではないかと読みですけども、なかなかそんなにたくさん仕事をしていただけるかどうかはわからないので、努力はしていきたいですけども、面談のときも、定年退職される方もちゃんと面談をして、もしよかったら再任用いかがですかと、それがどうしても無理ということであれば、短時間の勤務、非常勤でもご希望ありませんか。もう一つ言うなら、合志市で何とか臨採で働きませんか、そういったお声かけもしっかりしていただきたいということで校長先生方をお願いをしたところです。

続いて、小中一貫教育の推進についてということでは、コロナの影響もあってもかもしれませんが、中学校の子どもたちの落ち着き、規律が少し崩れてきているような気がしました。前からお話はしておりましたが、リーダーシップを取る子とか、真面目に一生懸命頑張っている子が、みんなをリードすることを止めていたり、努力することを格好悪いと思い始めたりすることのほうがとても心配なので、そういった子どもたちの規律や規範をしっかり維持するというので、例えば、校長先生、教頭先生は学校を、しっかり職員の先生方のことを守ってください。いじめ等で子どもたちの人権を守って大切にするというのがありますけども、先生方の人権が脅かされて、暴力や暴言が先生方のほうにかかってくるようでは明るい学校づくりはできませんので、先生方へもそういった配慮をして、学校経営を進めてほしいと。それが合志市でいう9年間を見通したときに、最終的

には落ち着いた子どもたち、真面目に本当にいろんなことを取り組もう、頑張ろうという子どもたちを育てたいという目標に一番近い道筋なので、もう一度足元から、学校の中で規律や規範が崩れてないかという点で検討をお願いしますということでお話をしました。

11日 総合訪問。合志南小学校です。お世話になりました。

12日 部落解放研究集会がオンラインで今年も開かれましたので、それを視聴したところです。

14日 教育支援委員会。支援学級の在籍を決め、在籍するか、通常学級の在籍にするのかというのを決めていくのがこの会議ですけども、教員が不足しているので支援学級の数进行少し減らしたらいいのではないかなという動きがあります。支援学級が多すぎるのではないかな。本市においては、この支援委員会で本人や保護者、そして学校の先生方がしっかり考えて、どちらを在籍にした方が本当にその子の力をつけることができるかなという基準はぶれないでくださいと。先生方の数が足りないのをどうにかして補うというような必要はありませんと。足りない先生は、やはりどうにかして見つけるのが本筋ですので、従来どおり、しっかりとその点での精査をお願いしますということでお話はしたところです。

15日 庁議及び政策推進本部会議。午後から熊本県学校図書館研究大会東部地区大会が御代志市民センターで開かれました。南ヶ丘小の澤田校長先生が実行委員長ということでお話があり、私も行ってご挨拶をしました。記念講演がとてもいい講演で、私も感動をしたのですが、いずれその方については、私も青少年育成会議とかにお呼びできればなと思って聞いたところでした。

16日 文化芸術自主事業の実行委員会。

続いて、先週末ですが、県の人権同和教育連絡協議会の先進地視察ということで2日間、私が奈良に行ってきました。奈良は水平社博物館、リニューアルしておりまして、係の方からいろんな説明を聞いて、そして、全国水平社では、宣伝部に関わった西光万吉さんが生まれた西光寺というお寺、それから、西光万吉さんのお墓もすぐ前にありましたので、そのお墓参りもしてきてですね。やはり奈良でもずっと続いているこの部落差別に関しては、先生方もしっかり勉強しながら進めなければなりません、やはり世代が変わってきているということです。いろんな取り組みをされた先輩、ベテランの経験がある、人権教育に関して経験がある先生方が退職されてきていると。若い先生方にどうやってバトンを引き継ぐかということでは、これは全国的なテーマになっているというふうなお話でした。

20日 合志吹奏楽団「響」の第15回の定期演奏会。とてもいい演奏でした。昨日、合志楓の森の総合訪問、お世話になりました。

そして、本日がこの会議となっております。

何かご質問等ありましたらお答えしますが、よろしいでしょうか。

はい、どうぞ。

○池頭俊教育委員

2 ページの学校の荒れに本気で向かい合ってほしいという教育長のお言葉は、危機感を持たせたいということもあるとは思いますが、教育長が話をされたということで、校長としての認識はできていると思っていいですか。

○中島栄治教育長

はい、はっきり言いましたので、校長先生方も自分がきちんと前面に立ってという気持ちにはなっていたと思います。

○池頭俊教育委員

2 4 ページのこれは教育長のお言葉でもいいですし、指導主事の先生方の思いでもいいのですが、ここに訪問をした教育事務所からの指導で、「まとめ」「振り返り」まで行きつかない授業が多く見られ、悩んでいるって、何を悩んでいるのでしょうか。行きつかないのを悩んでいるから、そこに校内研修を行っているのですか。それはこういうことだと、教育事務所がどう思っているかは別ですけど、指導主事の先生方は、どんなことを言いたいのでしょうか。いわゆる、内容を盛り込み過ぎということを言いたいのか。

○中島栄治教育長

はい。私自身が思っているのは、学校訪問があります、指導案を書きますといったときに、本当にスリム化やそれから実際に最後まで行けるっていうようなプランではなく、どうしてもあれもこれも余計なことを盛り込んでしまうというところは、教師にありがちで、しかもそれは若い教師にありがちなことです。それだけ若い先生方、経験が少ない先生方が増えてきているということを私たちは受け止めて、誰がどんなふうにアドバイスしていくかということを考えていかなければいけないと、個人的には思ったところです。

○池頭俊教育委員

それから、3 3 ページの家庭学習における主体的な学び。家庭学習の部分については、市の教育委員会としてもかなりいろんな形でご指導等はなされていますけど、家庭学習における主体的な学びの充実をうたっているということについて、是非そこも教えてください。

○中島栄治教育長

はい。

○池頭俊教育委員

それから、6 6 ページのC B Tの話ですけど、これをすると思力や問題発見、解決能力などの測定ができると。これはどういうことですか。

○中島栄治教育長

私が理解している点で言うなら、A I 採点ですね。文章とかいろんな要素も、以前は人間しかできなかった評価というのがA I を使って短時間に処理できるということから出てきているものだと思います。

○池頭俊教育委員

いやいや、そのＡＩで採点するのはわかるのですが、思考力とか解決能力など、これまで図れなかったものが図れるって、何かよくわかりませんので、今後、教えてください。

○中島栄治教育長

はい。

○池頭俊教育委員

以上です。

○中島栄治教育長

はい。私なりの理解は、以前は機械が採点するとイエス、ノーとか番号とかはできたのですね。ですけど、文章とか、英語で言うなら発音とか出来ない事が沢山あった。これをこのコンピュータベースティングにすることでＡＩが聞いて、または文章を読み取って診断をするというようなことが、要するに、先生たちが行ったらその問題を出して書かせて採点したら何時間もかかっていた問題がこれにすることによって幾つか出したとしても短時間のうちに採点できるというような発想だろうと思っています。

では、よろしいでしょうか、そのほかは。ありませんか。

はい。以上で私の話は終わらせていただきまして、続いて、事務局から報告事項等をお願いしたいと思います。

まず、最初に、１２月の行事予定についてお願いします。

○草場博志教育審議員

７ページをご覧ください。１２月の行事予定表となります。

１日 県学力・学習状況調査が９日までの期間で開催されます。

６日 管内教育長会議が庁舎で開催されます。

１０日 合志市人権フェスティバルが開催されます。入場制限をかけた開催となります。

１３日 市の校長会議。

１４日 人事異動の事務所のヒアリングが１２月２３日に予定されていますので、それに向けた教育長と校長の事前ヒアリングを１４日の水曜日の午後及び１９日月曜日の午前中に１２校を分けて実施することとなっております。

１６日 市議会本会議の最終日となります。

１７日 市ことのは作品表彰式。午後２時からとなっております。よろしくお願いします。

２３日 市の小中学校の後期前半の終了となります。この日は、先ほど申し上げた、教育長・校長の異動の第１回目のヒアリングが終日行われます。

学校は２７日仕事納めの２８日からの閉庁ということで、１月４日までの期間、学校閉庁となります。

最後にご提案申し上げます。次回、第９回の教育委員会会議ですが、年間の予定では１２月２６日の開催でしたけども、前回、教育長からお話が合った部分で、

変更調整の上、２２日木曜日に１時半から開催できたらいかがとご提案申し上げます。

以上です。

○中島栄治教育長

まず、質問等はありませんか、行事等のことについて。よろしいでしょうか。

２２日の教育委員会議ということでよろしいでしょうか。

はい、では２２日の１３時半から１２月の定例会を実施させていただきます。

○中島栄治教育長

それでは、その他に移りたいと思います。

まず、生徒指導についてお願いします。

○小林信一指導主事

１０月末の定例報告による不登校児童生徒数等の報告をいたします。

１０月末現在で長期欠席が市内で１９２名、不登校の児童生徒が１３３名、内訳は、右に示しているとおりで、小学校、中学校ともに増加しております。不登校傾向児童生徒数も１０月末現在で９９名ということで、小学校と中学校、そのような数になっております。

いじめの認知件数ですが、いじめの認知件数は、１０月、４件あがっております、小学校で３件、中学校で１件です。内容はこちらに伺っていますが、現在、学校も把握しており、お互いの話し合いと解決に向けての取り組みを続けられているということです。

それから、１カ月以上会えていない児童生徒について、合志中学校から２名あげています。１番の１年生の女の子は４月の１１日からずっと来られていないところで、なかなか人とも会えないという状況でいろんな病院等をつなごうと学校で対応されています。２番の男の子については９月の終わりから、会えていないということで、新規であげさせてもらっています。ただ、ここにあげておりませんが、先月載せていた３名の生徒、合志中の２年生の女の子、楓中の２年生の男の子、西合志東小学校の５年生の女の子については、すべて１０月中に、目視確認、適応指導教室等で会うことができているということで解消していますので、こちらには載せておりません。

以上です。

○中島栄治教育長

はい。では、以上のことで何かご質問はありませんか。

○池頭俊教育委員

その３名の西合志東、楓の森、合志中の子ですけど、何かのきっかけがあったのでしょうか。

○小林信一指導主事

解消した子ですか。

○池頭俊教育委員

たまたまこういうのがあって来られるようになった、あるいは、適応教室に行けるようになったというのがあったら教えてもらおうといいです。

○小林信一指導主事

合志中の女の子は、歯医者さんに行く時間を親御さんから聞いて、そこに担任の先生、学年主任の先生が見に行って、直接会って話しはできていませんけど、その子が歯医者さんに入っていく様子を確認できたということでした。

それから、楓中の男の子に関しては、この子は適応指導教室にやっとながって、適応指導教室で指導員の先生と5分間お話ができて、今も月に1回ぐらい会うことができているということでした。

それから、西合志東小学校の女の子も適応指導教室に親御さんと一緒に体験に行って、家から出るようになって会うことができたということでした。

以上です。

○中島栄治教育長

不登校に関しては、このコロナになってからの3年間で確実に増えてきています。私は校長先生方に、将来、引きこもったりすることを何とか避けるために、誰でもいいから一人でも多くの人とつなげるという努力を続けましょうと声掛けをしています。第三者機関に全く相談ができていないというのはほぼ0件になっていますので、本人が相談できなくても間接的に、担任等が第三者機関に相談を行ったりして進めています。

それでは、次の件に移りたいと思います。

続きまして、学校生活等（二学期制等）についてのアンケートを実施し、その結果が出ましたので教育委員の皆さんに見ていただこうと思いますので、説明をお願いします。

○草場博志教育審議員

以前、教育委員の皆様には、学校生活や二学期制に関する状況について、保護者、児童生徒、教職員からアンケートを取りますということでお伝えをさせていただきましたけれども、小学校の1年生から4年生までが3,274人、小学校5年生から中学校3年生までが3,426人、保護者の方が2,458人、教職員が560人の方から回答をいただきました。合志市教育委員会ではお願いしている、夢実現プロジェクトを踏まえた小中一貫教育、あるいは二学期制の試行を継続してきているというところで、どういう状況かということで作りましたけども、まず、児童生徒のほうをご覧いただきたいと思います。

最初に、二学期制の移行についての問いは、児童生徒、保護者、教職員に取っております。小学校5年生から中学校3年生までの部分では、二学期制を行うことが好ましいと、7番の問いについては、「そう思う」「やや思う」が70%ということでした。保護者につきましても、7番、二学期制の移行について好ましいかという問いに、「そう思う」「やや思う」が合計70%ということでした。教職員に至っては、10番になりますが、二学期制の移行につ

いて「そう思う」「やや思う」が92%という状況でございました。おおむね二学期制への移行に肯定的なご意見をいただいたと思っております。

また、アンケートの中で見えてきたものが、小学校1年生から4年生までの回答の中で、2番、朝食を食べていますかということについて、「毎日食べている」「だいたい食べている」が96%で、これは合志市教育委員会の目標値に達成しております。家庭での生活が十分に行われているということだというふうに思いますが、1年生から4年生までの中でほとんど食べていない、1%ですが、数にすると42名の子どもたちがほとんど食べていないという状況が非常に心配な数字だなということが現れてきました。このことは小学校5年生から中学校3年生も同じような問い、2番で見ますと、朝食を食べていると思わないと答えた子どもたちの数は2%、79名になっています。ということで、朝食が摂取できていない子どもたちの実態が明らかとなってきております。

それから、小学生から中学生までの1番の問いで、朝起きの部分についても、ほとんど自分で起きられてないという小学校4年生以下の子どもたちが10%の342名に対して、小学校5年生以上で発達段階が進んでいきますけども、中学校3年生までの子どもたちを見ても、朝起きができてないと答えている子どもたちのパーセントが10%で331人ということで、小学校低学年の子どもたちも中学生も、この区分の場合はあまり変わらないというような実態も見えてきております。

全体的な部分では、小学校の1年生から4年生までは、6項目のアンケートを取りましたが70%、すべて70%以上の肯定的な回答でした。一番低かった回答は、学校で先生とたくさん話をしていますかという問いに対して、「毎日している」「だいたいしている」と答えたのが70%という数値が6つの問いの中では一番低かったということになります。

また、小学校5年生から中学校3年生については、7項目の質問がございましたが、6項目において70%以上の肯定的な回答でしたが、一番低かった回答は、二学期制で先生との触れ合いや会話が増えた、4番のところは61%という回答だったということでございます。

保護者の回答は、7項目の質問をいたしました。7項目中5項目が60%以上の肯定的な回答でございましたが、60%未満だった回答は、二学期制の良さの学校からの説明、4番、ここがすべての質問の中で一番低い数値で48%と、二学期制の良さについて学校からの説明が十分発信されていなかったのではないかと、このところ、教育委員会としても、このことについては本年度十分準備はしてまいりましたが、まだその良さが十分にご報告できていないということも明らかとなりました。

また、二学期制の一つの目玉として、長期休業前の面談、教育相談の時間を設けておりますけども、その面談が、6番、教育相談や面談でのお子さんへのアドバイスを目標を持った学習や生活に役立っているかということについて、「そう

思う」「やや思う」が50%ということで、ここの目標を持った学習生活へのアドバイスとしての教育相談、面談の実施について、さらに校長会等を通じてその趣旨をご理解いただいて実施いただくようなことをお願いしていく必要があるとわかった次第でございます。

私からは以上です。

○中島栄治教育長

これにつきましての学校管理規則の変更等については、後日、改めてご提案しようと思っておりますので、このアンケートの結果を見ていただければと思います。

何かご質問等ないでしょうか。ご意見等も含めて構いませんが。

○池頭俊教育委員

何というか、すべての子どもたち、特に低学年の子どもたちにアンケートを行ったことにおいて、朝自分で起きていない子どもが10%いて、経年的なものは見てないけど、5、6年、中学校を見ても10%いるとなると、本当に小学校の低学年というか、小学校の1年生のときにどうきちんと教育しなければならないか、朝から起きる、ご飯を食べるとかいうことについては、徹底していかなければならないならば、ここでそのままにしておくと、その子どもたちはずっと生活習慣が身に付かない感じのデータですよ。もちろん、自分が痩せたいから朝食とらないというのは、思春期になると出てくることもあるかもしれませんが、やはり小学校の1年生の担任の先生に力を入れてやってほしいところは、浮き彫りになったと思っています。

もう一つは、この二学期制によって教育相談や面談が役立っているか、これが非常に低い。なかなかそれが役立ったというものが、すぐ見えるのかということの難しさが本当はあると思うのです。面談しました、このことでとても良かったとはいかないと思うのですが、校長評価の中で一番高いのは何かというと、長期休業中の教育相談、個別指導の実施なのですね。これ3.6ぐらいあって、きちんとできていると校長は評価している。ところが、保護者側からすると、あまり役立っていない結果が高いということであれば、二学期制の試行をしている段階ではきちんと長期休業前に面談を入れてください。そこで子どもたちとの関わりを持って規則的な生活なり、将来の夢なりということについてもお互い見つめ合いましょうねというようなことの指導をしているけど、もう少し中身の精査というか、吟味というのが必要になってきていると思います。

二学期制についても、その情報発信はされていませんが、二学期制は好ましいと保護者の方も強く思われているわけだから、今のシステムに今後移行するということは良いというふうには見られていると思います。

先生たちのアンケートから言うと、主体的な学習習慣づくりに努めているというのはわかりますが、実は主体的な学習習慣が付いていないという、ここのずれが出てきていますよね。ここの付近も今からメスを入れていかなければならないのかなと感じました。

○中島栄治教育長

ありがとうございます。

私もマイプロジェクトの中で、朝自分で起きる項目にはこだわりがあり、幼稚園とか、保育園でもお話をしていますが、本市では、小学校でも中学校でも大事にしておりますから、朝は自分で起きないといけないと肯定的に捉える割合は増えています。37%程度だったのが、中学校では40、小学校高学年から中学校では45%が大事だと思ってくれている。45%ですから、この子たちが親になり子育てのときに、早起きは大事だと、45%程度は言ってくれるのかなと。ただ、そう思わないという子どもも、本市で300人いるわけですね。朝から起きられない子が300人。私は学校に適用できない原因の大きな一つになっているというふうに思いますので、今後、先生方もしっかりこの情報を基に取り組みたいと思っています。

○池頭俊教育委員

非常にいいアンケートだったと思っていますし、アンケートを取ったから是非これを今後どう生かすかについては、研究をしていただくとありがたいかなというふうに思います。

あと、校長評価の中で、どうしても実践項目の5の部分、これは校長の評価が低くなるのも仕方がないのかなというふうに思うのですね。子ども会の活動の活性化と言われても、校長としては評価がなかなか難かしかったです。

○中島栄治教育長

今確かに一番厳しいときではあります。子ども会の加入が減っており、なかなか生涯学習と学校教育の関連付けさせるのは難しい。

○池頭俊教育委員

もともと新型コロナがあり、子ども会の活動も非常に活発でもないですね。だから、昔行っていたビーチボールバレー、ソフトボール大会も今小さくなって。でも、学校長にそこら辺を生涯学習と関連させなさいと言われると、非常に難しいと思いますので、来年度に向けては、是非学校教育というか、学校を預かっている校長は学校の子どもたちと地域と共にある社会をつくろうという部分で何をやってほしいということを出さない限りは、いつまでたってもこの評価は上がらないと思っています。

○中島栄治教育長

これは生涯学習課ともしっかり相談して、子ども会の松本会長とも連絡を取りながら、学校で何を取り組んでもらうかというようなことでは、具体的に話を考えていきます。

○池頭俊教育委員

コミュニティスクールについては、もう少し指導をしていただきたい。コミュニティスクール、せっかく中学校区のコミュニティスクールを作りましたから、そこが核となって活性化していかなければいけませんので、この付近については、

これも2.7ぐらいの非常に低いところとなっていますから、もう少し指導をしていただくとありがたいかなと思います。

○中島栄治教育長

学校運営協議会の結果や協議内容を委員さんたちにお知らせするとかいうことは可能なのかな。

○栗木清智学校教育課長

行ふべきだと思います。

○中島栄治教育長

そうであれば、本年度分の運営協議会でどのような協議がなされているか資料をまとめてもらうようにしましょうか。

○栗木清智学校教育課長

はい。

○中島栄治教育長

後日、そのことについては時間を取り報告をしたいと思います。

○栗木清智学校教育課長

学校の子どもたちが地域に貢献するというパターンがあまり見られないので、その付近を積み上げていくというのが、ここの連携になっていくのかと思います。

○中島栄治教育長

それは、協働活動になるかな。

○栗木清智学校教育課長

そうですね。

○中島栄治教育長

それも1年間分については、皆様に報告できるように、学校・地域協働活動本部の年間記録を説明できるようにしたいと思います。

また、今日、校長会議があっており、卒業式の日程が決まっていますが、中学校の卒業式は3月3日で提案があるとお伺いしております。3月3日金曜日です。

では次に、学校給食施設及び検討委員会の会議の報告をしたいと思いますのでお願いします。

○吉岡敏夫給食班長

改めまして、こんにちは。担当吉岡から説明させていただきます。着座にて説明します。

11月10日に行いました第3回の検討委員会の資料をお渡ししております。

概要を説明させていただきます。

まず、この日の検討の結果としましては、出席者の全会一致で、施設の建て替えについてはセンター方式で建て替えることで決定をしております。

引き続き、施設の数については、1センター、2センター、どちらにするのか、

次回の第4回検討委員会で継続協議するところです。それまでに関係者、例えば、栄養士部会、常勤の調理員との意見交換を行い、第4回の資料を作りたいと思っております。

左のページを開いていただきますと、右上のほうに資料1と書いておりますが、こちらが、前回の教育委員会議でお渡しした資料に対しての意見、提言、質問についてコメントをまとめております。

中段にどれぐらい閲覧があったかというのが、今日の9時時点で613件の閲覧がございました。うち市職員が67件でした。

ご意見としては、資料にあるとおり、4件ご意見がっております。そちらのご意見も検討委員の皆さんと認識共有しまして、貴重な意見として検討委員会の検討に使わせてもらいますということでお話しております。

ページ開きまして、資料2というのが、右上にあるページにあるかと思います。検討委員会のメンバーに、自校方式で1回、センター方式で1回、子どもたちが食べる時間帯にあわせて実際の試食会を企画させていただきました。

5ページ目になりますが、下のほうに総括として書いております。両日ともに、温かい物は温かいままで、冷たい物は冷たいままでということで、菌が繁殖する温度が40度とされていますので、和え物などは冷たいまま食べるというのが大事なことです。そういった意味でそれぞれ食べる、おいしく食べる温度で、両方ともにいただきましたということです。

参加者のコメントにもあったとおり、施設方式による給食の差異は感じられず、両方ともにおいしく給食提供ができるものということで、試食会を通して改めて確認できたというところでございます。

最後が、資料3になりますけども、追加説明資料として、一応、九州内のある程度の食数規模である諫早東部給食センターを学校教育課と栄養教諭の代表と共同で10月11日に視察しております。ここの規模は、8,000食最大で、今の提供が6,200食前後です。書いておりますとおり、イメージできたのが1つの大きなセンターの中に2センター分の設備があるところで十分提供できる。食育の取り組みについても、うちのほうでもタブレットが1人1台なっておりますので、食育の取り組み方も含めてタブレットを有効利用して、離れていても栄養教諭とのやりとりが十分やれるのではないかなという感触を得たところでした。

先ほど冒頭申したとおり、次回、ある程度センターの数については話はしていくところですけども、決められるのであれば、検討委員会で決めていただきたいと思います。心配な点は各委員さんが考えとしてお持ちかもしれませんので、それらのご意見を付帯した形で、方針ができればいいかなと。その方針を受けて執行部として、施設の数については最終的には判断していくところも踏まえつつ、事務局としてはさらに検討を進めていきたいなと思っているところです。

説明は以上になります。

○中島栄治教育長

あくまでも、決定機関じゃありませんので、検討機関ですので、いろんなご意見をお聞きするというスタンスでお伺いしていきたいと考えています。どんな意見が出たか等についても随時お知らせしていきたいと思います。

何かお聞きになりたいことはありませんか。

○池頭俊教育委員

この出された部分の３番目の人の意見がずっと根強いのかなと思います。顔が見えるとか、子どもがとか、給食室が学校からなくなったら、そうやって生活をされている方の部分もあると思いますが、ここを払拭するというのは非常に厳しいのかなとは思いますが。粘り強く、丁寧に安心、安全、子どもをどう守るかということも含めて話し合っていかなければというのが感想です。

○中島栄治教育長

では、よろしいでしょうか。

長時間に渡りありがとうございました。

閉会したいと思いますので、ご起立をお願いします。

以上をもちまして令和４年度第８回教育委員会（１１月定例会）を終わります。

午後２時３８分 閉会